

2025年度

ロシア地域学科

3年生 シラバス

目次

実務経験のある 教員	科目名	担当者名	ページ
☆	実用ロシア語会話	イリイナ・タチヤーナ	1
☆	実用ロシア語文法	イリイン・ロマン	2-3
	ロシア語リスニング	イリイナ・ソフィア	4
☆	ロシア語講読（前期）	スレイメノヴァ・アイーダ	5
☆	ロシア語講読（後期）	イリイン・ロマン	6
☆	通訳翻訳演習	デルカーチ・フョードル	7
☆	英語	ウィリアムズ・マイケル	8
	ロシア国家政治体制	プラーソル・アレクサンドル	9
	ロシア経済	プラーソル・アレクサンドル	10
☆	ロシア史	倉田 有佳	11
	ロシア文学史	スレイメノヴァ・アイーダ	12
	数学	井上 俊一	13
	体育	小林 礼	14
	論文作成	倉田 有佳	15

科目名	実用ロシア語会話	担当教員	イリイナ・タチヤーナ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（15週）・後期（12週）		
時間数	前期60時間（週2コマ）、後期48時間（週2コマ）総108時間		
授業概要・学習到達目標			
会話パターンを正確に理解して、多くの語彙を学び、自分の考えをロシア語で話すことができるようにする。			
評価方法			
テキストの暗記とテスト。試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1-5	第12課 《カフェで》/《リューバの夢》 造格
6-10	《レストランのメニュー》/《料理の注文》 人称代名詞
11-15	《レストランでの会話》 形容詞の造格
16-20	《正しい結論》 мог を使った会話/不完了完了体の作り方
21-24	《私の1週間》 文法 未来形について
25-27	《3人の教え子》テキストに基づいての質問と会話
28	《北ロシア地方》 テキストを読む練習 語彙を覚える練習
29	《北ロシア地方2》 前置詞の復習
30	まとめ テスト
【後期】	
1-2	第13課 運動の動詞 идти-ехать, пойти-поехать. 会話与格：動詞の間接補語と方向. 会話
3-4	《教授と女子学生》《ペーチャの誕生日》/練習問題
5-6	《ボリショイ劇場について》/テキストの練習問題 時間の表し方、時間についての質問
7-8	《初めてのボリショイ劇場オペラ観劇》/テキストの練習問題
9-10	《種子》/テキストの練習問題
11-12	《診療所》/ テキストの練習問題
13-15	《ロシアの偉大な外科医のN.I.ピロゴフ》/練習問題。会話。 テキストの練習問題
16-23	第14課 《レルモントフの家族》/テキストの練習問題 《現代のロメオとジュリエット》/テキストの練習問題 《レルモントフの家族 第2》/テキストの練習問題 《レルモントフの家族 第3》/テキストの練習問題 《レルモントフの家族 第5》/テキストの練習問題 単語テスト 会話。
24	復習 まとめ
教科書・参考書・資料・参考文献	
ロシア語の新しい習い方 第2部（ズラトウスト）。配布プリント	

科目名	実用ロシア語文法	担当教員	イリイン・ロマン
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（15週）・後期（12週）		
時間数	前期60時間（週2コマ）・後期48時間（週2コマ）総108時間		
授業概要・学習到達目標			
新たな文法の習得に加え、「話す」「読む」「書く」「聞く」の4つのスキル習得のため、既習の文法を効率的に運用する基礎作りをする。中級文法をおさえて上級文法に備える。			
評価方法			
試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス
2-5	第13課 【前置詞の用法】 ПО, НА, У, В, ПРИ, ИЗ, С, ВО ВРЕМЯ 【運動動詞の用法】 不完了体 ИДТИ, ЕХАТЬ と完了体 ПОЙТИ, ПОЕХАТЬ の現在形と未来形。ПРИЙТИ, ПРИЕХАТЬ の用法 так(ой)、настолько, до того..., что... の文
6-10	【前置詞の用法】 К, ИЗ-ЗА, ОТ, ПРОТИВ, О 【与格】 ПРИНЕСТИ, ПРИВЕСТИ, ПРИВЕЗТИ の違いと用法。人称・再帰代名詞の与格。 形容詞、順序数詞、物主代名詞の与格。状態、年齢の与格
11-13	【前置詞の用法】 НАД, ДЛЯ, НА СЛУЧАЙ, ИЗ-ПОД 【与格】【無人称の文】 天気、寒暖の感覚、時間、日付等の表現 与格のニュアンス：ПАМЯТНИК ПУШКИНУ
14-19	【与格】 必要性：НУЖНЫЙ, НУЖЕН, НУЖНО-НЕОБХОДИМЫЙ, НЕОБХОДИМ, НЕОБХОДИМО 動作の開始、終了、結果の表現との関係。連続する動作 複数動作の結果 A動作の終わりとB動作の始まり A動作の結果による状態。 動詞 СТАТЬ, ПОЙТИ, ПОЕХАТЬ, СЕСТЬ 動作の繰り返し vs. 一回限りの動作
20-22	第14課【主部と述部】 主語・補語の関係・その逆転。【主部と述部】 時制との関係
23-25	【主部と述部】 ВЕ 動詞、СТАНОВИТЬСЯ、СЧИТАТЬСЯ、ПОКАЗАТЬСЯ、ОКАЗАТЬСЯ、БЫТЬ vs СТАТЬ、 СТАТЬ vs ПЕРЕСТАТЬ 等の動詞と造格
26-28	【人称文と不定人称文】 要望、可能性、必然性等の叙法（モード）による主語・述語の変形（造格の用法）
29-30	理由の表現
【後期】	
1-7	【形動詞の用法】 能動形動詞 【否定表現】 二重否定 НИ... НЕТ 【前置詞】 原因と結果：БЛАГОДАРЯ と ИЗ-ЗА
8-12	【形動詞の用法】 被動形動詞

	【主部と述部】同意構造の様々 ЕСТЬ, ПРЕДСТАВЛЯТЬ СОБОЙ vs ЗВАТЬ-НАЗЫВАТЬ, НАЗЫВАТЬСЯ 等の動詞 とともに
13	まとめ、テスト
14-17	【副動詞の用法】
18-24	第15課 動詞のニュアンス：САДИТЬСЯ – СЕСТЬ – СИДЕТЬ, ВСТАВАТЬ – ВСТАТЬ テキスト «НЕ ВСЁ КОТУ МАСЛЕНИЦА», «БЕЗ ТРУДА НЕ ВЫНЕШЬ И РЫБКУ ИЗ ПРУДА». 代名詞 «СЕБЯ», 前置詞 ИЗ, ОТ, ПРО, О (ОБ), ЗА, ПОД, ИЗ-ЗА, ИЗ-ПОД. 動動詞のニュアンス：КЛАСТЬ - ПОЛОЖИТЬ, ЛЕЖАТЬ, СТОЯТЬ, ЛОЖИТЬСЯ – ЛЕЧЬ. «НА СКОЛЬКО ВРЕМЕНИ-СКОЛЬКО ВРЕМЕНИ-ЗА СКОЛЬКО ВРЕМЕНИ».
教科書・参考書・資料・参考文献	
ロシア語の新しい習い方 第2部 (ズラトウスト)。配布プリント	

科目名	ロシア語リスニング	担当教員	イリイナ・ソフィア
学 科	ロシア地域学科	学年	第3学年
開講期	前期（15週）、後期（12週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）、後期24時間（週1コマ） 総54時間		
授業概要・学習到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面でのロシア語会話を正しく聴き取れるようになる。 ・ロシア語を正しく発音できるようになる。 ・会話中から疑問文なのか、あるいは単なる意見であるのかを理解できるようになる。また、その違いがわかる。 			
学習上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・毎週新しい単語が出てきます。授業前にしっかり復習をし、参加するようお願いいたします。 ・出席は大事です。安易に休まないようにしてください。 			
評価方法			
授業態度 50%、各期末筆記試験 50%			

授業計画・内容	
【前期】	
1-6	Фильм «Человек Амфибия»
7-15	Фильм «Чайковский»
【後期】	
1-12	Фильм «Бриллиантовая рука»
教科書・参考書・資料・参考文献：教科書は使いません。必要に応じてプリントを配布します。	

科目名	ロシア語講読	担当教員	スレイメノヴァ・アイーダ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（15週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）	総30時間	
授業概要・学習到達目標			
ロシア語のエッセイや短編小説の抜粋等に多く接することで、中級レベルのロシア文に慣れること、文法の知識、語彙、表現法等を確認しつつこれを増強することを目指す。また、コンテキストから文意をすばやく読み取る力をつけることで、大量のロシア語テキストであっても読み進められる確かな読解力を備えることを目指す。			
評価方法			
課題提出、テスト、試験の結果を総合し評価する。			

授業計画・内容	
【前期】	
1～2	第16話 Это случилось в воздухе 「空の出来事」
3～5	第18話 Привет от Димки 「ディムカからのことづけ」
6	テスト
7～9	第19話 Бородатый внук 「髭面の孫」
10～12	第20話 Сын лётчика 「パイロットの息子」
13～15	第21話 Самый счастливый день 「一番幸せな日」
16	第22話 Новосёлы 「お引越し」、総復習
教科書・参考書・資料・参考文献	
S・コーネワ「実用ロシア語講読」、付属CD	

科目名	ロシア語講読	担当教員	イリイン・ロマン
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	後期（12週）		
時間数	後期24時間（週1コマ） 総24時間		
授業概要・学習到達目標			
現代ロシアの経済・ビジネス・政治・社会の様々なテーマに関して、まとまったテキストとニュースサイトの記事を正確に理解し、語彙の増強とともに、コミュニケーション能力育成の観点から、内容に関する質疑応答ができ、ロシア語力を向上させることを目指す。			
学習上の留意点			
1. テキストの読解を意識して授業を進める。 2. 新しい語彙・文法を使いつつ、質問事項には自分の意見を盛り込んで答えること。			
評価方法			
評価方法：試験、出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
1～3	テキスト1《証券取引所》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ1【内政】
4～6	テキスト2《ウーマン・エコノミー》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ2【外交・国際関係】
7～9	テキスト3《所帯持ち学生》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ3【経済・産業】
10～12	ニュース記事のテーマ4【軍事・国防】 テキスト4ニュース記事のテーマ5【犯罪・司法】
教科書・参考書・資料・参考文献	
1. ロジムキナ他著「ロシア：経済と社会」ズラトウースト社発行、2007年 2. ロジムキナ他著「ロシアの日々」ズラトウースト社発行、2009年 3. 加藤栄一「時事ロシア語」東洋書店、2014年	

科目名	通訳翻訳演習	担当教員	デルカーチ・フォードル
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（15週）、後期（12週）		
時間数	前期60時間（週2コマ）、後期24時間（週1コマ）総64時間		
授業概要・学習到達目標			
十分な露訳と簡単な和訳ができるようになる。			
評価方法			
学生は授業中のノートをPCで行う。各課の終わりにノートを自分で修正してe-mailで教員に提出。教員は、学生のノートに修正やコメント等を入れ、評価を付けて学生に送り返す。前期の成績評価は、提出されたノートの平均点数で決める。後期の期末は、ノートの他に期末テストを行う。最終評価は、ノートの評価と期末テストの評価の平均点数で決める。合格点は60%以上とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1～3	第1課、「10月1日」、作文トレーニング
4～5	第2課、「Бонус」、作文トレーニング
6～8	第3課、「День детей」、作文トレーニング
9～11	第4課、「Женитьба по любви или женитьба по сватовству?」
12～13	第5課、「Рождество」、作文トレーニング
15～18	第6課、「握り寿司」、作文トレーニング
19～20	第7課、「選挙のダルマ」、作文トレーニング
21～22	第8課、「梅雨」、作文トレーニング
23～24	第9課、「Неделя защиты птиц」、作文トレーニング
25	第10課、「Счастливые и несчастливые числа」、作文トレーニング
26	第11課、「修学旅行」、作文トレーニング
27～28	第12課、「正月」、作文トレーニング
29～30	第13課、「日本の名所旧跡とロシアの名所旧跡」、作文トレーニング
【後期】	
1～2	第14課、「Акира Куросава」、作文トレーニング
3～4	第15課、「Чему и как учат в школе」、作文トレーニング
5～7	第16課、「長野オリンピック」、作文トレーニング
7～9	第22課、「День совершеннолетия」、作文トレーニング
10～11	第19課、「日本人の結婚観」、作文トレーニング
12	第20課、「Всемирный календарь будущего」、作文トレーニング
教科書・参考書・資料・参考文献	
教科書：1. イリイン著「通訳論」ロシア極東国立総合大学2006年 そのほか、適宜プリントを配布する。	

科目名	英語	担当教員	ウィリアムズ・マイケル
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（15週）・後期（12週）		
時間数	前期60時間（週2コマ）・後期24時間（週1コマ）総84時間		
授業概要・学習到達目標			
このコースの目的は、過去2年間に学習した英文を読む、理解する、話す、書くというスキルの基礎を築くことである。授業では、様々な状況において英語でコミュニケーションをとることができるようになる。			
評価方法			
small tests and exams, assignment submissions, participation in class, and attendance			

授業計画・内容	
【前期】	
1～9	ガイダンス、Chapter 1 family, personality, sports, food
10～18	Chapter 2 money, phrasal verbs, transportation, travel
19～25	Chapter 3 cell phones, describing people, renting an apartment, informal letters
26～29	Chapter 4 (pp.62-68) education, friendship, future time clauses
30	テスト
【後期】	
1～3	Chapter 4 (pp.69-75) interviews, society, talking about abilities
4～11	Chapter 5 meetings, formal letters, résumés, talking about work
12	テスト
教科書・参考書・資料・参考文献	
Smart Choice 4, Student Book, 4 th Edition (Oxford University Press), by Ken Wilson	

科目名	ロシア国家政治体制	担当教員	プラーソル・アレクサンドル
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（15週）・後期（7週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）・後期14時間（週1コマ） 総44時間		
授業概要・学習到達目標			
国家体制、政治制度などの様々な分野について現在ロシアを研究するために必要な基礎的知識を習得する。			
評価方法			
毎回出される課題の回答に基づいて評価する。			

授業計画・内容			
【前期】		【後期】	
1	ロシア政治文化の特性	1	現代ロシアの社会と政治変化
2	1993年憲法体制	2	社会の愛国主義教育
3	2020年憲法改正	3	ロシア政治体制における宗教
4	大統領・大統領府と政府	4	ビデオ教材
5	議会・選挙制度	5	ロシア・とウクライナの関係の歴史
6	市民と政府の間一政党	6	クリミア併合とウクライナ危機
7	市民の政治活動	7	日本、東アジアとの関係
8	中央と地方の関係		
9	ロシア地域の政治文化（1）		
10	ロシア地域の政治文化（2）		
11	ロシア地域の政治文化（3）		
12	政治と民族政策		
13	連邦国家ロシア		
14	ロシアの対外政策（1）		
15	ロシアの対外政策（2）		
教科書・参考書・資料・参考文献			
教科書は使用しない。適当な参考書を授業に合わせて説明する。			

科目名	ロシア経済	担当教員	プラーソル・アレクサンドル
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（15週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）総30時間		
授業概要・学習到達目標			
この授業の目的は、驚異的な経済発展を続けるロシア経済に焦点をあつて経済発展メカニズムとその独特性を分析するとともにロシア経済が抱える問題点について分析しロシア経済の原動力の理解を高めることである。			
評価方法			
期末に行う筆記試験の成績に出席を加味する。筆記試験は、自筆ノート、配布プリントの持込可。			

授業計画・内容	
1	経済システムの基本
2	ロシア経済システムの基本
3	銀行の制度
4	需要と供給構造
5	市場形成の特徴
6	不完全競争市場の現状
7	政府と市場の関係
8	ロシアの金融市場
9	外国為替と国際収支
10	経済活動の基本
11	国内総生産（GDP）
12	失業の調整
13	インフレーションのメカニズム
14	ロシアのマクロ経済
15	金融政策の特徴、環境と経済の関係
教科書・参考書・資料・参考文献	
授業は特定の教科書を使用せずに講義方式で進めます。理解を助けるために板書を多く用いますが、更にパワーポイント等の視覚教材で説明を補います。また、各項目が終わるごとに重要事項と語彙をまとめたプリントを配布する。	

科目名	ロシア史（前・後期）	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（15週）・後期（12週）		
時間数	前期30時間（週1コマ） 後期24時間（週1コマ） 総54時間		
授業概要・学習到達目標			
日本とロシア（ソ連）の双方の研究者の視点からロシア史の基本的な流れを理解することを目指す。			
評価方法			
出席（30%）授業態度（20%）課題・提出物（10%）試験（40%）			

授業計画・内容	
【前期】	
1	オリエンテーション（復習）
2	ロマノフ王朝（デカブリストの乱 ニコライ一世時代の始まり）
3	ロマノフ王朝（ニコライ一世 内政）
4	ロマノフ王朝（ニコライ一世 クリミア戦争）
5	ロマノフ王朝（アレクサンドル二世 敗戦後の大改革 農奴解放）
6	ロマノフ王朝（アレクサンドル二世 敗戦後の大改革 社会・経済）
7	ロマノフ王朝（アレクサンドル二世 人民の中へ 皇帝暗殺）
8	ロマノフ王朝（アレクサンドル三世 反動と「安定」の時代①）
9	ロマノフ王朝（アレクサンドル三世 反動と「安定」の時代②）
10	ロマノフ王朝（皇太子時代のニコライ 大津事件 シベリア鉄道敷設）
11	ロマノフ王朝（ニコライ二世 即位・治世の始まり）
12	ロマノフ王朝（多民族帝国）
13	ロマノフ王朝（ニコライ二世 日露戦争 黄禍論）
14	ロマノフ王朝（ニコライ二世 敗戦後 血の日曜日 1905年革命）
15	ザチョット
【後期】	
1	ロマノフ王朝（ニコライ二世 国会召集 ストルイピンの改革）
2	ロマノフ王朝（ニコライ二世 第一次世界大戦）
3	ロマノフ王朝（ニコライ二世 帝政の終焉へ）
4	ロマノフ王朝まとめ（映画「エルミタージュ幻想」鑑賞）
5	ソ連史（二月革命）
6	ソ連史（二月革命から十月革命へ）
7	ソ連史（国内戦争）
8	ソ連史（ソ連邦成立）
9	ソ連史（レーニンからスターリンへ）
10	ソ連史（スターリン時代 ネットから第一次五カ年計画 農業集団化）
11	ソ連史（大祖国戦争）
12	ソ連史（大祖国戦争 映画「僕の村は戦場だった」鑑賞）
教科書・参考書・資料・参考文献	
適宜参考図書や論文を使用・配布。	

科目名	ロシア文学史	担当教員	スレイメノヴァ・アイダ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（15週）、後期（12週）		
時間数	前期30時間（週1コマ） 後期24時間（週1コマ） 総54時間		
授業概要・学習到達目標			
19世紀後期のロシア文学のピーク、20世紀前半の文学 ロシア文学の社会諸問題への関心、国民性、知識人の使命、作家の受難、ロシア人の文学への信頼などに注意の重点を置く。授業は教科書（PDF ファイルの電子資料；プリント）に沿って進めるので教科書（プリント）を必ずもってくる。授業で積極的な態度を表すこと。授業の最後にメモを書くこと。習ったことを自宅で少しでも復習すること。			
評価方法			
試験、小テスト、宿題（Google Forms）の結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	前年度の復習。今期のガイダンス。19世紀後半の文化状態（政治、経済の維新、ナロドニキ運動）。「平民」の詩人：ネクラソフ。
2-5	ドストエフスキーの人生と作品。世界文学の意義。ドストエフスキーの『罪と罰』、『カラマーゾフ兄弟』、『白雉』、ドストエフスキーの文体の分析。
6-10	トルストイの意義と世界文学への影響。『戦争と平和』『アンナ・カレーニナ』の分析。
11-15	チェーホフの散文：ロシア文学の新しい段階であった『ワーニカ』『犬を連れる奥さん』『大草原』等。紀行文『サハリン島』。
【後期】	
1-3	チェーホフの散文（『犬を連れる奥さん』）、劇作：新劇場の作品であった『桜の園』、『三人姉妹』、『かもめ』、『桜の園』。
4-5	ゴーリキーの人生と作品。散文詩、散文（『幼年時代』、『我が大学』、『母』）、劇作（『どん底』）。
6-7	19世紀末～20世紀の詩壇。象徴主義（ブロークの作品）
8-11	アクメイズム（グミリョーフ、アフマトワ、マンデリシターム）；ツヴェターエワの作品
12	復習。
教科書・参考書・資料・参考文献	
各著者の原作からの抜粋（PDF ファイルの電子資料；プレゼンテーション；随時プリント類）	

科目名	数学	担当教員	井上 俊一
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（15週）		
時間数	前期30時間（1コマ） 総30時間		
授業概要・学習到達目標			
微分積分及び確率に関する基本的知識を、日常生活の中でどのような使われ方をしているのかを excel を活用して理解につとめる。			
評価方法			
テスト＝2時間／期末試験 の結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含めた総合評価とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1-4	<p>【 集合・順列・組合せ 】</p> <p>1 場合の数、集合{部分集合、補集合、共通部分、和集合等} の理解を深める</p> <p>2 集合・補集合の要素の個数、和の法則と積の法則の理解を深める</p> <p>3 順列・順列の応用・重複順列・円順列の理解を深める</p> <p>4 組合せ・組合せの性質・組合せの応用の理解を深める</p>
5-7	<p>【 確率 】</p> <p>5 確率の意味を理解し確率の計算を行う</p> <p>6 確率の加法定理・余事象の確率を理解し確率を求める</p> <p>7 独立な試行の確率・反復試行の確率、及び、独立・従属の関係を理解し、条件付き確率を求める</p>
8-11	<p>【 微分 】</p> <p>8 ガイダンス 微分の直感的理解を図り、具体的に、導関数、微分係数を求める</p> <p>9 接線の意味を理解し、接線の式を求める</p> <p>10 関数の増加・減少と微分係数の値の変化との関連を理解する。</p> <p>11 関数のグラフのイメージを持つことができるようにする。</p>
12-14	<p>【 積分 】</p> <p>12 積分の意味の直感的な理解を図るとともに、関数の不定積分の式を求める。</p> <p>13 関数の定積分の意味を理解し、定積分の値を求める</p> <p>14 定積分により面積や体積が求められることを理解し、面積の値を求める</p>
15	15 まとめ・期末試験
教科書・参考書・資料・参考文献	
随時配布プリント、スライドショー、excel	

科目名	体育	担当教員	小林 礼
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）、後期（7週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期14時間（週1コマ） 総46時間		
授業概要・学習到達目標			
運動することの楽しさや喜びを味わうとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフ「する。見る。支える。知る」を実現する能力を育成するとともに、スポーツに関する課題を発見し、その解決を図る主体性・協働的な学びを通して、公正・責任・安全・判断・人間性等を育成する。			
評価方法			
出席（50%）授業態度（40%）試験（10%）			

授業計画・内容			
【前期】		【後期】	
1	オリエンテーション	1-2	体づくり運動⑥ 体力を高める運動 縄跳び
2	体づくり運動① 体ほぐし運動	3	球技：バスケットボール①～②
3	体づくり運動② 体力をほぐし運動	4	体づくり運動⑧ 体力を高める運動 縄跳び
4	体づくり運動③ 体力を高める運動 登山	5-7	球技：サッカー①～③ ボールコントロール
5	体づくり運動④ 体力を高める運動 ウォーキング	8-10	球技：バレーボール①～③
6-7	マット運動①～② 器械運動	11	まとめ
8-10	球技 ネット型：バドミントン①～③	12	実技試験
11	体力測定		
12-14	球技 ネット型：バドミントン④～⑥		
15	体づくり運動⑤ ウォーキング		
16	実技試験		
教科書・参考書・資料・参考文献			
使用しない			

科目名	論文作成（前・後期）	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（8週）・後期（10週）		
時間数	前期16時間（全8コマ） 後期20時間（全10コマ） 総36時間		
授業概要・学習到達目標			
序論・本文・註・参考文献の作成といった、論文の基礎を学び実践し、卒業論文作成に必要な事項をすべて身につけておく。			
評価方法			
出席（20%） 学年論文（80%）			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス、学年論文テーマ（3年次のテーマは「ロシア文学」）の検討、参考文献の調査
2	学年論文テーマの検討、先行研究の調査（ガイダンスと実践）
3	文献目録作成（ガイダンスと実践）、論文テーマ決定、提出
4	序論作成・目次作成について・章立てについて・本論作成について（ガイダンスと実践）
5	論文作成
6	論文作成
7	論文中間発表の準備
8	ザチャット週間（中間発表）
【後期】	
1	夏休みの成果発表、授業終了後、指導教官に進捗状況を報告
2	序論作成（授業終了後、指導教官に提出）
3	目次作成（授業終了後、指導教官に提出）
4	論文作成
5	本論完成（授業終了後に指導教官に提出）
6	本論修正・完成（指導教官から指摘を受けた点を訂正・加筆）
7	脚注、参考文献リスト完成
8	学年論文完成（全体を整え、授業終了後に指導教官に提出）
9	授業終了後、学年論文提出
10	学年論文発表会（ザチャット週間最終日）の練習
教科書・参考書・資料・参考文献	
ガイドブックおよび引用註の様式を配布する。論文執筆に必要な参考図書や論文などは、論文指導の中で適宜紹介する。	